

叛旗

社説主義者同盟

発行所／新 旗 社
編集人 柳田隆雄 発行人 川崎久夫
東京市新宿区百人町1-11-1
31号室之内 (郵便番号160)
電話 03(362) 0149 雑務
東京 162-8515 柳田隆雄
編集委員 長谷川武典
社説委員 長谷川武典
社説電話 06(312) 8263

反帝戦線全国大会

8月23・24日

＜詳細連絡 03-362-0149＞

着疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

ベトナム インドシナ、朝鮮と 我々の実践—想像力の定在

世界史的現実の 変容と構成の諸側面

世界史的現実の変容と構成の諸側面

「世界史的現実」とは、人類の歴史を構成する諸要素の相互作用によって形成される動的な構造を指す。この構造は、地理的・経済的・文化的・政治的諸要素の複合的な関係によって決定される。戦後の世界は、冷戦構造の形成によって大きく変容した。この変容は、世界史的現実の構成要素の相互作用の再編成を意味する。我々の実践は、この変容を認識し、その構成の諸側面を分析し、人類の解放と進歩のために努力することである。

ベトナム—インドシナ 解放闘争への再付言

ベトナム—インドシナ解放闘争は、世界史的現実の変容の重要な側面である。この闘争は、植民地主義の残存と新植民地主義の形成の過程を明らかにしている。我々の再付言は、この闘争の意義を再評価し、その実践的意義を強調することである。ベトナム—インドシナ解放闘争は、人類の解放と進歩のための重要な実践である。

韓国—朝鮮問題と 我々の想像力の定在

韓国—朝鮮問題は、世界史的現実の変容の重要な側面である。この問題は、冷戦構造の形成と維持の重要な要素である。我々の想像力の定在は、この問題を認識し、その解決のための実践的アプローチを提示することである。韓国—朝鮮問題は、人類の解放と進歩のための重要な実践である。

スゲシロール

7月20日

7月23日

8月23・24日

反帝戦線全国大会

政治行動における戦後性の刻印

爆弾事件に関する我々の立場

爆弾事件の評価と批判の前提

爆弾事件の発生は、戦後政治の発展に重大な障害を及ぼすものがある。我々の立場から、この事件を正確に評価し、その原因を究明し、今後の政治行動に教訓を得なければならない。

この事件は、単なる偶然の出来事ではなく、戦後政治の混乱と腐敗の結晶である。我々国民は、この事件を通じて、戦後政治の真実を知り、我々の立場を明確にしなければならない。

戦後政治の発展には、民主主義の徹底と政治的責任の果たされることが不可欠である。我々は、この事件を契機として、戦後政治の刷新を求め、我々の立場を明確にしなければならない。

沈黙と「おひさし」の構成

この事件の発生後、政府は沈黙を守り、真相を明らかにしない。これは、国民の知る権利を侵害するものであり、我々の立場から強く批判されるべきである。

「おひさし」という言葉は、戦後政治の現状を象徴している。我々は、この沈黙を打破し、真相を明らかにすることを求め、我々の立場を明確にしなければならない。

戦後政治行動の倒錯と非行

戦後政治の発展には、政治的責任の果たされることが不可欠である。我々は、戦後政治の倒錯と非行を指摘し、我々の立場を明確にしなければならない。

戦後政治の倒錯とは、戦前政治の悪弊が戦後も残存し、我々の立場から強く批判されるべきである。我々は、戦後政治の刷新を求め、我々の立場を明確にしなければならない。

深層海流

戦後政治の発展には、政治的責任の果たされることが不可欠である。我々は、戦後政治の深層海流を指摘し、我々の立場を明確にしなければならない。

戦後政治の深層海流とは、戦前政治の悪弊が戦後も残存し、我々の立場から強く批判されるべきである。我々は、戦後政治の刷新を求め、我々の立場を明確にしなければならない。

戦後政治の発展には、政治的責任の果たされることが不可欠である。我々は、戦後政治の現状を正確に評価し、我々の立場を明確にしなければならない。

戦後政治の刷新を求め、我々の立場を明確にしなければならない。我々は、戦後政治の発展に貢献し、我々の立場を明確にしなければならない。